

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : Dr. Mate
会社名 : クリーンケミカル株式会社
住所 : 大阪府茨木市島 4 丁目 28-9
担当部署 : 技術部
電話 : 072-634-6470
FAX : 072-636-6591

推奨用途 : 業務用洗浄剤
使用上の制限 : 推奨用途に限定する。

2. 危険有害性の要約

製品の GHS 分類、ラベル要素

GHS 分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

皮膚感作性：区分 1

発がん性：区分 2

生殖毒性：区分 1A

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 1

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H319 強い眼刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H351 発がんのおそれの疑い

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

H400 水生生物に非常に強い毒性

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P280 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P280 指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

P391 漏出物を回収すること。

P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水/石鹼で洗うこと。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用してい
て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵
P405 施錠して保管すること。

廃棄
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物
一般名：除菌剤、非イオン界面活性剤、陰イオン界面活性剤、防錆剤、pH調整剤

成分名	濃度 (wt%)	安衛法	化管法	毒劇法
エタノール	< 5	表示・通知物質	非該当	非該当
1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン	< 2	表示・通知物質 (2025.4.1 施行) 皮膚等障害化学物質	非該当	非該当
イソプロピルアルコール	< 1	通知物質	非該当	非該当
トリエタノールアミン	< 1	通知物質	非該当	非該当
ジエタノールアミン	< 1	通知物質	非該当	非該当
N,N-ジメチルドデシルアミン =N-オキシド	2.0	非該当	第1種指定化学物質	非該当

4. 応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の場所に移し、うがいをし、安静・保温に努める。異常を感じるならば医師の処置を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合
直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば医師の処置を受ける。

眼に入った場合
こすらずに直ちに流水で15分間以上洗眼(眼球とまぶたの隅々までよく洗う)し、医師の処置を受ける。
コンタクトレンズを着用しており、容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

飲み込んだ場合
口の中を水で洗い、水又は牛乳を飲む。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤
容器周辺の火災の場合、水、粉末、二酸化炭素などを用いる消火剤は使用できる。
使ってはならない消火剤
データなし

特有の危険有害性
データなし

消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。危険でなければ火災区域から容器を移動させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
消火作業従事者は適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
適切な保護具を着用する。関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項
漏出された製品が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩した液は出来るだけ回収し、残りはウエス、ぼろ布等に吸収させて焼却する。
回収できない液は、多量の水で充分に希釈して洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策

- (取扱者のばく露防止)
必要な個人用保護具を使用する。
- (注意事項)
皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。
煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。

安全取扱注意事項
必要な個人用保護具を使用する。
転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。

接触回避
データなし

衛生対策
取扱い後は手、汚染個所をよく洗うこと。

保管
安全な保管条件
高温・直射日光を避けた涼しい所に密栓して保管する。
子供の手の届かない場所に保管する。
避けるべき保管条件
日光、熱
安全な容器包装材料
データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度
(イソプロピルアルコール) 作業環境評価基準 200ppm
(ジエタノールアミン) 濃度基準値 TWA: 1mg/m3
許容濃度
(イソプロピルアルコール) 日本産衛学会(1987) (最大許容濃度) 400ppm; 980mg/m3
ACGIH(2001) TWA: 200ppm;
STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)
(エタノール) ACGIH(2009) STEL: 1000ppm (上気道刺激)
(トリエタノールアミン) ACGIH(1993) TWA: 5mg/m3 (眼及び皮膚刺激)
(ジエタノールアミン) ACGIH(2009) TWA: 1mg/m3 (IFV) (肝臓及び腎臓損傷)
特記事項
(ジエタノールアミン) 皮膚吸収

ばく露防止
設備対策
室内で取扱う場合、適切な排気装置を設け、管理指標以下に保つ。
取扱い場所の近くに、手洗・洗眼・身体洗浄のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具
呼吸器の保護具 保護マスクを着用する。
手の保護具 不浸透性の保護手袋等を着用する。
眼及び顔面の保護具 不浸透性の保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具 必要に応じて、不浸透性の保護長靴、保護服、前掛を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 無色～淡黄色透明
pH : 7.8 (原液) (代表値)
密度及び/又は相対密度(比重) : 1.01 (代表値)
溶解度 : 水、湯に相溶する。
臭い : ほとんどなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 : 初留点>35℃
可燃性 : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし

動粘性率	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度	: データなし
その他	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	ステンレス以外の非鉄金属（銅、アルミニウム、真鍮等）を腐食させることがある。 また、ゴム、樹脂は変色、劣化する場合がある。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報	
急性毒性	
急性毒性（経口）	
(N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド)	rat LD50=1267mg/kg (NITE 初期リスク評価書, 2007)
(イソプロピルアルコール)	rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)
(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)	rat LD50=784-1200mg/kg (DFGMAK-Doc. 2, 1991)
(ジエタノールアミン)	rat LD50=2300mg/kg (SIDS, 2008)
急性毒性（経皮）	
(イソプロピルアルコール)	rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)
急性毒性（吸入）	
(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)	dust/mist: rat LC50=0.25mg/L (male rat 0.21mg/L, female rat 0.28mg/L) (OECD TG 403, GLP) (CLH Report, 2021)
局所効果	
皮膚腐食性/刺激性	
(トリエタノールアミン)	ヒト 刺激性 (NTP TR 518, 2004 et al)
(ジエタノールアミン)	ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, 2008)
(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)	ラビット/ヒト (DFGMAK-Doc. 2, 1991)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	
(N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド)	ラビット 強度の刺激性 (SIDS, 2007)
(エタノール)	ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No. 48(2), 1998 et al)
(イソプロピルアルコール)	ラビット (PATTY 6th, 2012 et al)
(トリエタノールアミン)	ラビット 14日後に完全に回復 (PATTY 6th, 2012 et al)
(ジエタノールアミン)	ラビット 強い刺激性 (SIDS, 2008)
(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)	ラビット 強い刺激物 (DFGMAK-Doc. 2, 1991)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	
有用な情報なし	
皮膚感作性	
(トリエタノールアミン)	cat. 1; ACGIH 7th, 2001
(ジエタノールアミン)	cat. 1A; MOE 初期評価, 2021; 産衛学会許容濃度等の勧告, 2017
(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)	cat. 1A; sensitizing : Contact Dermatitis 4th, 2006
生殖細胞変異原性	
有用な情報なし	
発がん性	
(エタノール) [ACGIH]	A3(2009) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(イソプロピルアルコール) [IARC]	Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]	A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない

(ジエタノールアミン)	cat. 2; IARC Gr. 2B (IARC, 2011)
[IARC]	Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
[ACGIH]	A3 (2009) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
[日本産衛学会]	第2群B : ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
(トリエタノールアミン) [IARC]	Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
生殖毒性	
(エタノール)	cat. 1A; human : PATTY 6th, 2012
(イソプロピルアルコール)	cat. 2; PATTY 6th, 2012
(ジエタノールアミン)	cat. 2; NTP TER 96001, 1999
特定標的臓器毒性	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	
[区分3 (気道刺激性)] (エタノール)	気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
(イソプロピルアルコール)	気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)
(トリエタノールアミン)	気道刺激性 (NTP TR 518, 2004)
[区分3 (麻酔作用)] (エタノール)	麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	
[区分1] (エタノール)	肝臓 (DFGOT vol.12, 1999)
[区分2] (エタノール)	中枢神経系 (HSDB, Access on Jun. 2013)
誤えん有害性	
有用な情報なし	

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性	水生生物に非常に強い毒性
	長期継続の影響によって水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 短期(急性)	
(N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド) 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata)	EC50=0.1mg/L/72hr (環境省リスク評価第3巻, 2004)
(エタノール)	藻類 (クロレラ) EC50=1000mg/L/96hr (SIDS, 2005)
(イソプロピルアルコール)	魚類 (メダカ) LC50 >100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)
(トリエタノールアミン)	藻類 (Scenedesmus subspicatus) EC50=169mg/L/96hr (SIDS, 2001)
(ジエタノールアミン)	甲殻類 (ミジンコ) LC50=2.15mg/L/48hr (Aquire, 2012)
(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)	藻類 (ムレミカヅキモ) ErC50=0.22mg/L/72hr (0.0453, 0.607, 0.11, 0.79mg/L/72hr (いずれもE U CLP CLH, 2022)の幾何平均値)
水生環境有害性 長期(慢性)	
(N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド) 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata)	NOEC (r)=0.004mg/L/72hr (環境省リスク評価第3巻, 2004)
(エタノール)	甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)
(イソプロピルアルコール)	甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >100mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)
(トリエタノールアミン)	甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=16mg/L/21days (SIDS, 2001)
(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)	藻類 (ムレミカヅキモ) NOErC=0.0403mg/L/72hr (REACH 登録情報, 2022)
残留性・分解性	
(N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド)	急速分解性なし (BOD: 54, 52, 82%/28 days; TOC: 68, 54, 81%/28 days; LC-MS: 100, 100, 100%/28 days (通産省公報, 1995))
(エタノール)	急速分解性あり (BODによる分解度: 89% (既存点検, 1993))
(イソプロピルアルコール)	急速分解性あり (BODによる分解度: 86% (既存点検, 1993))
(トリエタノールアミン)	急速分解性でない (BODによる分解度: 0% (既存点検, 1978))
(ジエタノールアミン)	TOCによる分解度: 96.7% (既存点検)
(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)	急速分解性なし (難分解性; BODによる分解度: 0% (METI 既存点検結果, 2002))
生体蓄積性	
(エタノール)	log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)
(イソプロピルアルコール)	log Pow=0.05 (ICSC, 1999)
(トリエタノールアミン)	log Pow=-2.3 (ICSC, 2003)
(ジエタノールアミン)	log Pow=-1.43 (PHYSPROP DB, 2005)
土壌中の移動性	有用な情報なし
オゾン層への有害性	有用な情報なし
その他情報	有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法
- 環境への放出を避けること。
 - 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。
 - 使用液（希釈液等）の排出の際は大量の水と共に廃棄する。
 - 大量の場合は廃棄物処理業者に廃棄依頼する。

14. 輸送上の注意

- 輸送の特定の安全対策及び条件
- 輸送に関しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。
- 環境有害性
- 海洋汚染物質（該当/非該当）： 該当
- 国際規制
- 国連番号/国連分類 UN3082／クラス 9（環境有害物質、液体、N.O.S.） 容器等級Ⅲ

15. 適用法令

- | | | |
|---------------|-----------------|---|
| 労働安全衛生法 | ： 名称表示危険/有害物 | エタノール |
| | 名称通知危険/有害物 | 1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン(2025. 4. 1 施行)
エタノール、イソプロピルアルコール
トリエタノールアミン、ジエタノールアミン |
| | 皮膚等障害化学物質 | 1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン(2025. 4. 1 施行) |
| 毒物及び劇物取締法 | ： 非該当 | |
| 化学物質排出把握管理促進法 | ： 第 1 種指定化学物質 | N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド |
| 消防法 | ： 非該当 | |
| 船舶安全法 | ： 有害性物質 分類 9 | |
| 航空法 | ： その他の有害物件 分類 9 | |

16. その他の情報

- 参考文献
- Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
 - Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
 - 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
 - 2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
 - <http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
 - JIS Z 7252：2019
 - JIS Z 7253：2019
 - 厚生労働省 基安化発 0111 第 1 号(令和 4 年 1 月 11 日)
 - Supplier's data/information
- 責任の限定について
- 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データなどに基づいて作成しておりますが、必ずしも十分な情報ではない可能性があり、新しい知見によって改訂される事があります。また、通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。本データシートの目的は当該製品を安全に取扱って頂くため情報を提供するものです。法的な要求事項を除き、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。また、ここに記載されたデータは製品仕様とは異なり、情報の正確さ、安全性について何ら保証するものではありません。
- ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和 4 年度（2022 年度））です。
- 但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。